

あじかわぐち2

気持ち
いいね～

いい香り!

ラベンダー畑でお散歩

- こういうことを決めました 2～3P
- 代表・関連質問 4～7P
- 一般質問 8～9P
- 委員会レポート 10～12P
- 議員活動報告 13P
- 窓・編集後記 14P

4つの案件を審議

- 第3回臨時議会
- 6月定例議会

6月定例議会は、条例改正5件 町道の路線変更1件等を審議

◆ 臨時議会 ◆

平成22年の第3回臨時議会は5月12日に開会され、4つの案件を審議した。

4つの議案のうち「専決処分
の報告及び承認を求めること」が2
案件あり、富士河口湖町税条例の
一部を改正する条例と、平成21年
度富士河口湖町国民健康保険特別
会計補正予算（第5号）の専決処
分が報告され、承認された。

富士河口湖町上九一色地区情報
通信基盤整備事業請負契約締結に
ついてと、平成22年度富士河口湖
町一般会計補正予算（第1号）も
上程され、原案どおり可決した。

承認を求める件（3件）

- ・ 平成21年度富士河口湖町一般会計繰越明許費繰越計算書について
- ・ 平成21年度富士河口湖町一般会計事故繰越し計算書について
- ・ 平成21年度富士河口湖町水道事業会計繰越明許費繰越計算書について

条例の一部改正（5件）

- ・ 富士河口湖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ・ 富士河口湖町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・ 富士河口湖町国民健康保険税条例の一部改正
- ・ 富士河口湖町国民健康保険条例の一部改正
- ・ 富士河口湖町立公民館条例の一部改正

こういうことを 決めました！

第3回臨時議会は

◆定例議会◆

6月定例議会は8日開会し、会期を15日までの8日間と決め、報告事項3件、条例改正5件、町道の路線変更1件、補正予算5件などを審議した。

平成22年度の一般会計予算（第1号）と、町道の路線変更については、それぞれ所管する常任委員会へ審議が付託され、会期中の6月9日から10日にかけて開催された総務常任委員会、文教社会常任委員会、産経土木常任委員会で慎重審議を行った。

15日の本会議において、3常任委員会の委員長から審議結果の報告がされ、委員長報告とおり可決された。

◆一般会計補正予算◆

一般会計補正予算（第1号）についても、職員の年度末の人事異動に伴う給料、職員手当、共済費などの人件費の組み替えが主なものとなっている。

この他、「町道の路線変更について」が上程され、船津地区の権現ノ森地内の、町道3060号の変更が原案どおり可決された。

◆補欠選挙◆

富士河口湖町と鳴沢村で組織する一部事務組合の、「鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合」と「河口湖南中学校組合」の議員の欠員による補欠選挙も議題となり、選挙は議長による指名推選で行われることが決定され、議長の推選により全会一致で当選人が決定した。

▼鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産 保護組合議会議員選挙▲

当選人

大嵐 渡辺 正勇 氏

▼河口湖南中学校組合

議会議員選挙▲

当選人

大嵐 渡辺 正勇 氏

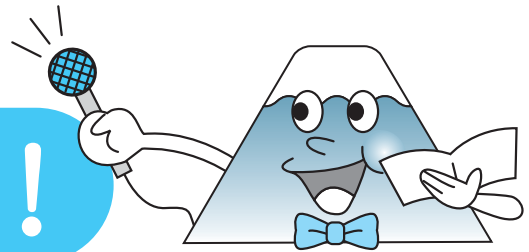


特別会計補正予算（4件）

- ・平成22年度船津財産区特別会計補正予算（第1号）
- ・平成22年度富士河口湖町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・平成22年度富士河口湖町水道事業会計補正予算（第1号）
- ・平成22年度富士河口湖町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

特別会計の補正予算は船津財産区が公民館改修費の補助金繰り出し、介護保険は、介護サービス費の増額であり、水道と下水道事業は、職員の人事異動による人件費の組み替えです。

知りたい！ 聞きたい！



太陽光発電の推進



親樹会代表質問
渡辺 元春 議員

だいひょう・かんれん 代表・関連質問

Q1

町長の今後の 施策を問う

質問 町長は常々福祉・教育・環境に重点を置くと言っているが、年度中や来年度以降に実施したい各施策はどのようなものがあるか。

町長 福祉面では、小規模特別養護老人ホームを平成23年末には供用開始ができるよう取り組んでいる。子宮がん予防ワクチン接種の全額公費負担を今定例会に提案した。地域子育て支援事業は合計で11事業に取り組む。教育面では、すでに取り組んでいる町単教諭の加配、栄養士の加配等も含め、少人数学級等の維持継続を図る。

今後小・中学校の適正配置の推進、河口湖南中学校の耐震化対策、学校施設の補修改修等々に取り組む。

環境面では、ごみの減量化・再

資源化の推進、新エネルギーの有効利用として、風力発電導入の適正化の調査、エコキュート、太陽光発電の奨励、グリーンミュージアム事業の推進、富士山世界文化遺産への取り組みにより自然環境の保全に取り組む。

関連質問（三浦康夫）



三浦 康夫
議員

質問 新エネルギーの有効利用の、具体的な施策は。

町長 エコキュート、太陽光発電等の推進は、住民のエコ意識を高揚させる。特に、必要性が高く県と連携を図ることと地域の省エネの可能性があるので、積極的に取り組む。

Q2 健康科学大学との 連携と支援策

質問 健康科学大学との連携とさらなる支援策を問う。

町長 町と大学の連携を深める中、地域に密着した大学として相互に支援、

協力する関係を構築していく。補助金の支出による大学の運営支援だけでなく風評によって低下した信頼回復のために、町がどのような支援ができるかも検討する。

関連質問（三浦康夫） 補助金2千万円に對する歳出根拠と今後のさらなる具体的な支援策等を示せ。

町長 2千万円は、緊縮財政の中で、一杯してどこまで行けるかという思いの中で設定した。

今後の大学の支援に関しては、風評被害を最小限にする意味で地域包括連携の協約を結んだ。

Q3 水道事業を問う

質問 水道ビジョンはどの程度成熟しているか。

確立する時期と公表する方法は。料金値上げはどう検討し、実施するのが具体的に示せ。

水道課長 水道ビジョン作成に昨年度より着手し、進捗状況は全体の4割程度。議会はもとより、口頭でも町民に広く内容を公表することが必要である。

関連質問（渡辺余緒治）



渡辺 余緒治
議員

質問 湖南水道事業の経営状況が大変だと聞くが。

水道課長 ご質問のとおり湖南水道の経営内容は大変厳しい。水道料金の改定等も含める中で、何らかの処置が必要だと考えている。

Q4 住民基本台帳カードの取り組みは

質問 住基カードを図書館利用カードとして活用できるようお願いする。

また、本年6月より、全国のセブンイレブンで、住基カードの自動交付サービスの導入が予定されているが、このサービスへの参加はどうか。

住民課長 財団法人地方自治センターが公募しているICカード標準システムを活用したコンビニ交付自動交付機導入推



健康科学大学との連携講座

進事業、支援事業に応募した。

また、現在使用している印鑑証明書と住民基本台帳カードを1枚化することと住民サービスの向上を図りたい。

生涯学習課長 住民基本台帳カード活用の図書館への対応は可能だが、

代表・関連質問 だいひょう・かんれん

Q5

ステラシアターの 活用を広げよ

住民の利便を最優先に考え、図書館利用券も利用できる対応で取り組んでいかなければならない。

再質問 コンビニ交付時のシステム導入の費用はどうか。公募に際し国の補助は。また、応募を認められない時の考えは。

企画課長 導入費用は約4千500万円。国の補助金は2千万円である。

国が公募する団体は約20団体で、応募は40団体を超えている。補助金が獲得できなくても前向きに取り組む。



ステラシアターコンサート風景

質問 吹奏楽のパート練習、1人から少数の練習にはステラシアターを格安料金で利用できるか。

文化振興局長 トップシーズンの7月、8月、9月、大小ホールの

代表・関連質問

空き状況にもよるが、音楽合宿などで訪れた方々の少人数のパート練習の場所に当ホールを利用されるのはスタッフの望むところである。利用料金は条例で低料金に設定されている。

再質問 施設の空き状況の周知方法は。

少人数の料金設定が可能なのか。

文化振興局長 少人数での料金設定は条例にはないので、利用内容を吟味する必要がある、今後の研究課題としたい。今まで告知していなかった。広報紙、ホームページ等で告知していきたい。

関連質問（高山泰治）



高山 泰治
議員

質問 土曜と日曜に興行すると、金曜に練習、月曜日に撤収となる。その期間は空いていると思うが。

文化振興局長 8月は無理な時期であると思うが、火曜日が休館のため水曜、木曜、2日間くらいがとれると考える。

関連質問（高山泰治） 料金は徴収して、その2日間を自由に開放することができ

Q6

自然環境を生かした 施策を望む

文化振興局長 空いてさえいれどしどし問い合わせたい。



IVVウォーキング大会

質問 自然環境を大切にし、自然と共生・共存型の観光立町を目指すべきものであ

ると考えるが、観光施策としてウォーキング大会やロードレース等の充実と新たな開催・誘致への取り組み、ナイキヒューマンロードレースに代わる新たな取り組み、今年開催されるもみじマーチの概要、ウォーキングのパーマネントコース5キロ、10キロ、20キロの設置とマップ作成についての考えはあるか。

観光課長 観光としてのウォーキング大会は、現在行っているものを活用していきたい。

ナイキジャパンのザ・ヒューマンレースの今年の開催は困難で、次年度に向けて本栖湖周辺でスポーツ大会を検討していきたい。

生涯学習課長 今年のもみじマーチは、I V V 記念大会として2009、I V V オリンピアード記念、富士山国際ポピュラースポーツ祭典、第19回富士河口湖もみじマーチとして開催を計画している。

年間を通してウォーキングを観光施策として考えられるが、町民の健康づくりに主体を置いたパーマネントコースの設定を考えていきたい。

関連質問（渡辺余緒治） ウォーキングや湖水のトレイルランなどを一堂に会して、この地域の事業としてひとつの

商品としてPRしたらどうか。
観光課長 スポーツに特化した形のものを中心に重点に告知し、パンフレットをつくっていきたい。

Q7 映画祭とフィルムコミッション

質問 映画、テレビ、コマーシャル等の撮影の手续やロケに関するすべての支援をする旨のブログを、全世界に向けて発信したらどうか。

観光課長 山梨県の富士の国やまなしフィルムコミッションに当町は登録しており、映画、テレビ、コマーシャル、外国のコマーシャル撮影に町も使われている。

町独自のものは、人的体制、費

用も必要となるので、時間をもらい検討したい。

関連質問（高山泰治） 町全体として、専門委員会などを立ち上げて、フィルムコミッションを進めた方がよいと思うが。

観光課長 どのような方法が良いか研究したり、講師等を招き今後の方策や取り組みを検討したい。



当町での撮影風景



子宮頸がん予防ワクチンの 公費助成について再度伺う Q1



一般質問者
佐藤 安子 議員

質問 3月の定例議会で、子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を要望したところ「国の動向を見ながら検討する」という答弁だった。

その後県は、公費助成を決定した市町村に限度額1万5000円を助成する事を決定し通知している。子どもの命を守りたい。ワクチンは高額のため、公費助成を。

健康増進課長 山梨県の補助制度を受け、町でも接種者家庭の経済的負担軽減を図り、予防ワクチン接種を受けやすくするため、本定例議会に公費助成事業費を補正予算として提案した。接種対象者は小学6年生と中学3年生の女子で、費用負担が1回1万5000円で3回分4万5000円を上限として公費助成する方針である。

いっぱん
一般質問

子宮頸がんに対する 具体的な啓蒙・啓発活動 について伺う Q2

質問 子宮頸がんは若い女性に急増しており、年間1万5,000人以上が発症し、約3,500人が亡くなる。ウイルスが原因であるといわれている。検診による早期発見・早期治療と子宮頸がんの原因の約7割を占めるウイルスに対する予防ワクチンの接種で、ほぼ100%予防が可能であり、12歳前後の女子にワクチン接種することが一番高い効果があるといわれている。具体的な啓蒙・啓発活動を伺う。

健康増進課長 思春期の女子が女性の成長と健康についてきちんと理解できるように、がん予防ワクチンの正しい知識、将来にわたっての検診の重要性について保護者を含めて情報提供の機会をつくりたいと考えている。具体的な広報の方法として、広報富士河口湖の7月号、CATVの放送番組、町のホームページ、町内配布のチラシ等を利用して情報が行き渡るように努める。

Q3 国民読書年の取り組みについて伺う

質問 当町の生涯学習館はゆつくり本に親しめ、ボランティアによる各種イベントも積極的に行われていて、更に、福祉推進課ではブックスタート運動として絵本のプレゼントを行っている。一方、町内の各学校でも読書タイムを設定している。

そこで、2010年国民読書年として特別な事業は何か考えているか。子どもが活躍できる子ども司書制度導入を検討してみてはどうか。

生涯学習課長 国民読書年の今年、予定している新規事業は、わらべ歌講座や工作遊び教室の実施、絵本の講演会や絵本を読む会を開催し、更に、図書館利用時に託児サービスを考え5つの事業に取り組んでいく。

子ども司書制度の導入の取り組みも大切だが、読書が楽しくなるような取り組みとして、家族そろって1冊の本を通して親子のきずなを深め、読書の習慣をはぐくむ推進を図りたい。

Q1 傷んでいる生活道路の補修を早く計画的に

質問 町内の、とりわけ生活道路で、穴埋めなどの応急措置では対応できないところが多く残されている。今年度の道路補修の計画はどんなっているか。

都市整備課長 今年度は、国の補助金事業では、5路線（船津駅前線、小立八丁屋線、勝山大砂2号線、船津駅裏線、オギノから西へ向かう道路の一部）の補修予定。そのほかに町負担の事業として、21ヶ所を計画している。

質問 地域住民にとって住みやすい町こそが観光にも来たいと思える町だと思う。生活道路の補修を重視して、さらなる予算確保に取り組むべきではないか。

町長 そのとおりだと思うが、いままで予算が確保できず頭を痛めていた。今年度はいままでもなかった国の補助金が得られ、従来より補修を進めることができた。今後とも計画的に取り組みたい。



一般質問者
山下 利夫 議員



痛んでいる道路

Q2 学校の統廃合問題

保護者、地域住民全体の声にもとづいて議論を

質問 3月の住民説明会では、とくに富士豊茂小の統合問題について、保護者も含めた地域住民から多数の反対意見が出た。それらの声にもとづいて議論をすすめるべきではないか。

町長 住民との対話をすすめるなかで、とくに保護者の意見を重視して、地域住民の合意を得て、取り組んでいきたい。

給食職員の雇用の改善を

質問 学校給食について。現在の自校方式・町直営方式は続けていくか。また、調理員のみなさんの雇用の改善を。

町長 現在の方式は続けていく。5年、10年と勤めても待遇が改善されない状況、何とかしたいと思うが、財政上の理由で難しい。

一般質問
いっぱん

旧上九一色地区にCATVを引く 工事の進捗状況は？

●所管全般

質問 旧上九一色地区にCATVを引く工事の進捗状況は。具体的には、いつ申し込んだら利用できるのか。

答弁 すでに着工しており、工事完了は12月頃の予定。
その後、各家庭への配線を行う。



CATV工事（本栖地区）

加入の対応は、近々上九一色出張所内に開設するCATVの仮事務所を拠点に行う。来年7月に間に合うように取り組む。

質問 平成21年度の町税の歳入見込額は。

答弁 40億8千451万円で、予算額より約4千629万円増えている。

質問 災害時の町の連絡体制は。

答弁 町の連絡体制（配備体制）は1次から3次までであるが、今年度策定する職員の防災マニュアルの中で明確な位置づけを行い運用していきたい。

質問 弦間副町長に、富士河口湖町の印象と副町長職への思いを聞きたい。

答弁 町に来て、議会との関係あるいは業務を見るにつけ県と違い、町は住民と直接の行政を行っており、地域住民の生の声が入ってくることを肌で感じている。また、副町長として、町長の教育、福祉、環境という重点施策をなお一層進展させて、町勢発展、住民福祉の向上のために全力で取り組んでいきたい。

質問 国勢調査は、どのような調査員

がどのような体制で臨むのか。

答弁 国勢調査については、現在、調査員が約120名、調査票等を点検指導する指導員が15名、そのほかに、企画課の担当職員が2名という組織で対応する。

質問 国勢調査員に、健康科学大学の学生を使うのも一つのアイデアかと思うが、どうか。

答弁 国勢調査員には住所要件もあるようなので、一つの提言として検討する。

質問 議員で福島県の棚倉町に研修に行ってきたが、棚倉町では企業誘致を積極的に行っており、企業誘致を成功させた町民には多額の報償金を出す制度があるとのことだったが、当町でも報償金を制定する考えがあるか。

答弁 一つの策として報償金制度も考えられるが、それが我が町にとって得策かどうか、あるいは、我が町で可能かどうかというようなことを検討させていただきたい。

質問 インター線開通に伴い、交通安全対策の早急な実施が必要と思われる箇所があるが、その対策は？

答弁 指摘のとおりインター線の開通に伴って、交通安全対策が必要だと思うので、公安委員会、警察等関係機関と相談をしながら、早急に対応する。

文教社会常任委員会

公共建物の耐震化工事などの進捗状況は？

質問 子宮頸癌予防接種は任意接種と聞く。窓口無料化制度が、申請方式か。

答弁 この助成制度は窓口無料化で、個人負担を課さない仕組みで行う。

質問 予防接種は来年、再来年と継続されるのか。

答弁 県の補助制度は中学3年生、小学6年生に限って3年間継続されると県から聞いている。それ以後の小学6年生についても継続する。

質問 公共建物の耐震化工事などは何年までに終了するのか。

答弁 校舎の耐震化はすべて済んでいる。富士豊茂小学校と上九中学校の体育館の耐震化が必要となっている。

現在、統廃合の問題があるので、耐震化については進めていない。その二件については、統廃合の判断がつき次第対処していきたい。

質問 保育所の給食に関して、本年度後半より外注をしてもかまわないという方針が厚労省から出ているようだが。

答弁 厚生労働省から通知があり、そういった通達が出ていることは知っている。給食の外注については今後の検討課題としたい。

質問 船津小学校に照明器具が設置されていないが、学童の課外活動の場の環境整備として照明等の設置が必要ではないか。

答弁 船津少年野球団より陳情があった。また、児童の保護者代表、校長、教頭とも会って、状況について確認している。今はいろいろな情報を集めており、対応を検討している。

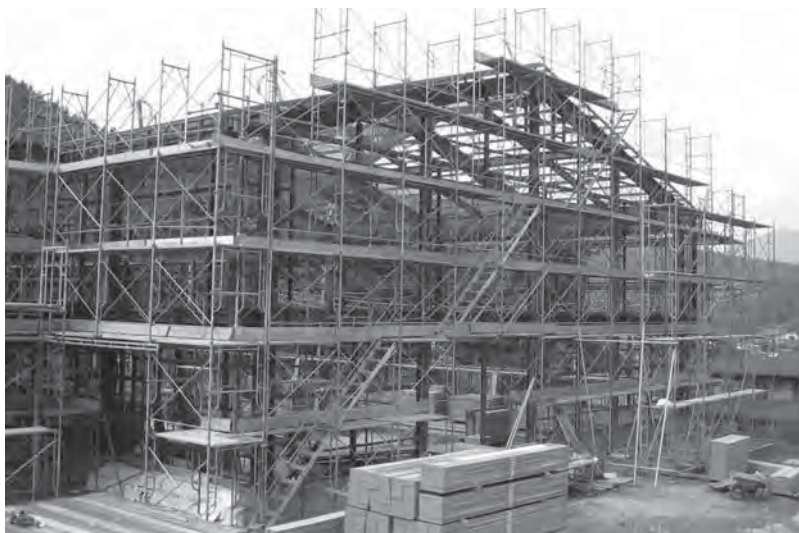
質問 本栖湖スポーツセンターの、県から町へ移管状態等について現時点でわかる範囲での答弁を。

答弁 町が望むような状況にできるかどうか県当局と検討した上で、平成23年度末の移管を考えている。

質問 町長は、常々重点に置くのは福祉、教育、環境であると言っているが、この3つの施策の柱の何をやるのか、説明を求める。

答弁 過日の代表質問でお答えさせていただいたとおりである。私自身、富士河口湖町を一步でも前進させたいという意

欲は十分持っているつもりである。
また、委員の皆様方からご提言がありましたら、それはしっかりと受けとめて取り組んでまいりたい。



耐震改築工事が進む西浜小・中体育館

農業用廃棄物置き場の活用は？

質問 河口湖畔の公衆トイレの整備事業の場所はどこか。

答弁 漁協の湖側にトイレを新築する。本年度は実施設計委託を行う。

質問 健康科学大学につながる乳ヶ崎線の拡幅工事予算は、当初と補正予算で全体とすれば何パーセントの予算が組めたのか。進捗状況は。

答弁 乳ヶ崎線の拡幅工事については、現在2件の契約が得られ、合計金額は約1千万円になる。全体の進捗はおおむね6割が契約済みである。

◎所管全般

質問 宮崎県発の口蹄疫問題は未だ終焉のめどがつかない。伝染病蔓延防止は初動段階での抑え込みが大切であるが、マニュアルの作成状況は。

答弁 県の畜産課と連絡を密にし、伝染病発生予防及び蔓延防止に対する体制がとられている。初動マニュアルは検討されている。

質問 河口の円形ホルの駐車場に県がトイレを設置すると聞いているが、いつ着工するのか。

答弁 9月中旬着手、来年の3月完成予定である。

質問 合併道路の小立分と勝山分の用地買収の進捗率は。

答弁 勝山工区は48%、小立工区は91%、船津工区は86・6%が買収済みである。

質問 大石の馬場川から西側の地域と大石、河口地内の土地改良区の中は、下水道工事ができない状態であるが、家屋が増えている現在見直しを考えているか。

答弁 河口の土地改良区は、農振地域のため全体計画区域からはずれているが、農振地域をはずして建物が建っているという事実があるので、今後計画区域の見直しの際に、関係機関と協議して下水道整備が可能となるよう考える。

質問 浅川地区の水道問題の進捗状況とこれからの展望は。

答弁 平成22年度を目途に、浅川水道を含めて一本化の方向で進めている。

質問 本年度の外国人観光客の誘致計画の件数と対象地域は。

答弁 トップセールスということで、6月下旬に町長、議長が牡丹江市を訪問する。今年度は東南アジア方面に7・8回の海外誘客宣伝を予定している。

質問 西湖いやしの里の、4月、5月の入場人員は。

答弁 4月は対前年で13%ほど減であり、5月は10%ほどの増で、過去2番目に高い数字である。

質問 町民体育館の北の駐車場にある農業用廃棄物置き場の活用、あるいは撤去の予定はあるか。

答弁 今は使われていないので活用を考えている。町内の団体で利用の希望があれば、施設を解体・運搬して使ってもらいたい。現状を調査して清掃等早急に対応する。



農業用廃棄物置き場

質問 ジビエ加工施設ができて1年が過ぎたが、1年間に何頭のシカが処理され、どこに提供されたか。

答弁 34頭で、町内の旅館、本栖・精進の売店等で消費をされている。

行政視察

栃木県市貝町
福島県棚倉町

議会活性化と行政改革への取り組みを学ぶ

1日目 栃木県市貝町

5月25日から3日間にわたり、町議会議員の行政視察を実施しました。

1日目は、栃木県の市貝町（いちかいまち）を訪ねて、「市貝町集中改革プランに基づくまちづくり」と、「本州最大級を誇る芝ざくら公園」を主に研修を行いました。

市貝町は、同町が所在する芳賀地区合併協議会が廃止となったため、当面は単独で行政運営を行う人口1万2500人弱の栃木県東部の町です。

当町議員の質問は、職員管理職手当て、税収、保育所の指定管理者制度、水道料金、企業誘致など、幅広い分野において活発に行われました。

中でも、市貝町が単独で奨学金貸与を実施している「奨学金貸与費特別会計」と、「芝ざくら公園」については、議会さんからの熱のこもった質問が出され、一つひとつ丁寧な回答を得ました。

会議室での研修を終え、議員の仕事場である議場を見学した後、予定時間を超過しましたが、石川議長自らの先導で、「芝ざくら公園」の現地視察も行いました。



市貝町での質疑

2日目 福島県棚倉町

2日目の5月26日は、福島県棚倉町（たなぐらまち）を訪ねました。

棚倉町は、昭和30年に1町3

村が合併して誕生した、福島県南部に位置する人口1万5100人程の町です。

棚倉町では「議会活性化への取り組み」と「行政サービス改善取り組み」を重点に研修をしました。

棚倉町議会では、町長等の説明者が質問者に質問の趣意を確認するため『反問権』が認められていること、本会議を始め議会に関する会議はすべて公開で行われていることなど、議会活性化への取り組みについての説明を受けました。

町のユニークな施策として、企業誘致を成功させた町民は、町職員であってもその職務や身分に関係なく誰でも報奨金がもらえる制度があるとのことでした。

『反問権』と『企業誘致の成功報奨金』は、当町の議員を驚かせ、質問も集中して出されました。『反問権』が認められているため、

質問する議員さんもよく勉強してから質問するようになり、全体的に議員さんの資質向上につながっている、との説明がありました。

お世話になった両町の皆さんに紙上で改めて感謝致します。

タ刊たなぐら 2010年（平成22年）5月27日 木曜日



棚倉町での研修の様子は、地元紙「タ刊たなぐら」で取り上げられました。

明日 晴れ



流石 朝之(大石)

自宅を河口湖の大石に構えながら、100 km離れた都内でサラリーマンとして働く生活に、昨春秋、終止符をうつた。週日を都内の外資系企業の日本法人で働き、週末は河口湖の自宅で家族と過ごす生活を、定年後も、しばらく会社に残りながら、思えば32年も続けてきた。

32年間、都内の生活と富士河口湖町の生活の2つがあった。都内の生活では、交通網が発達し、どこへ行くにも電車やバスがあり便利だが、便利すぎるためか友人に会うには必ず電車やバスで移動しなければならぬ。住んでいたアパートの部屋の隣人は、次々と変わり、いつもよくわからなかった。また、自然や緑に出会うのも、わざわざ出かけなくてはならなかった。それに対し、富士河口湖町には、近くに友人や親戚、自治会や「組」を通じた近所付き合いから親しく

している人たちが数多くいる。また、富士河口湖町は、生活のすぐそばに緑や豊かな自然があふれている。人や自然と会うのに、バスや電車はいらない。

もちろん、その自然と向き合うことで、都内の生活にはない不由さがあるのは確かだ。夏になると庭や畑の草はぐんぐんと育ち、日々の草取りが欠かせない。冬になると雪かきも必要だ。草取りや雪かきの苦労は、都内の生活にはないが、その分、四季の移ろいを肌で感じる。これまで妻や近所の人たちがしてくれていたのだと感謝しながら、元気なうちは、少しでも役にたきたいと思うと、草取りや雪かきも、それほど苦痛ではない。

しばらくしたら、都内の友人を招いてみたい。そしたら草取りをさせて、私が富士河口湖町で感じる本当の豊かな生活を友人たちに少しでも伝えたいのだが、迷惑がられるだろうなあ。

議長の訪中記

中国トップセールスに、町長をはじめとする総勢7名で6月23日～27日に牡丹江市をメインに訪ねました。中国も異常気象のためか、日中36度38度と非常に暑い5日間でもありました。牡丹江市とは、昨年5月に東京に於いて観光協力協定を結んでおり、これを機会に町長自らが訪れ、富士河口湖町への誘客を直接お願いし、誘客につなげようと宣伝活動を積極的に展開してきました。また、牡丹江市には、鏡白湖と言う周囲45kmの中国景勝地42選にも入る湖があり、遊覧船上にて、河口湖との姉妹湖協定の締結をおこない、双方の湖の環境整備や観光分野における協力を約束してきました。今後大いに期待できる締結であると思いました。最後に、

北京で開催中の北京国際旅博覧会(BITE)にて、各旅行社のブースを町長自ら廻りセールスを実施し、富士河口湖町の宣伝をし、誘客をお願いしてまいりました。今回のトップセールスを通じて、あらためて、富士山ブランドの偉大さを感じることができた5日間でもありました。富士山に感謝、感謝です。



議会を傍聴しませんか 次の定例会は9月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

参議院選挙による衆参ねじれ国会が取りざたされる昨今ですが、スムーズな国会運営を行うには、相互の話し合いこそが大切であるという議会の基本に立ち返ることであります。

我々も初心を忘れずに議会に取り組んでいきたいと思えます。

6月定例議会を中心とした「議会だより」27号を発刊しましたので、ご覧頂きたくお届けします。

編集後記